### logger

指定した期間中にロガーで収集されたログをリアルタイムで出力します。このコマンドの実行には管理者権限が必要です。

#### 構文

logger window=INT{y|mon|w|d|h|m|s} NAMESPACE\LOGGER[, ...]

**window=INT{y|mon|w|d|h|m|s}**

リアルタイムで入力データを出力する期間を指定します。y（年）、mon（月）、w（週）、d（日）、h（時）、m（分）、s（秒）単位で指定できます。例えば、10sは「クエリ実行時点から10秒間」を意味します。

**NAMESPACE\LOGGER, ...**

リアルタイムで入力データを参照するロガーを指定します。複数のロガーを指定する場合はカンマ（,）で区切ります。LOGGERにはワイルドカード（\*）を使用でき、パターンに一致するロガーを一括で参照可能です。

NAMESPACEはロガーが属するネームスペースを示します。ロガー名は同一NAMESPACE内で一意です。NAMESPACEがlocalの場合、loggerコマンドを実行したログプレッソ・ソナーサーバーのネームスペースを表します。それ以外の場合は、ログプレッソ・ソナーサーバーまたはセントリーの識別子が表示されます。LOGGERはロガーの名称を示します。

#### 使用例

local\sample1、local\sample2ロガーから10秒間リアルタイムで受信

logger window=10s local\sample1, local\sample2